

第25回結核臨床研修会報告

医療社会事業専門員 近藤 洋平

平成29年12月10日(日)新築の七尾病院研修室において当院主催の結核臨床研修会を開催いたしました。平成29年度2回目の開催です(1回目は平成29年6月4日に公立松任石川中央病院の講義室をお借りし開催いたしました)。

結核臨床研修会は結核医療における地域の医療機関相互の連携強化を図り、結核医療の向上に努めることを目的としております。当院では平成27年度から、石川県における結核対策の中核病院に指定され、本研修会により力をいれております。

先ず始めに石川県能登中部保健所所長 南睦夫先生より「能登中部保健所管内の結核患者の発生状況と対策について」ご講演いただきました。平成26年度以降は結核罹患率が減少していることや、結核患者は70代以降が9割以上を占めることなどが述べられていました。

当院からは、堂下隆内科医師より「結核診断のポイントについて」と題し結核関連検査の紹介や実際の症例に基づく診断のコツの説明がありました。次に「結核症例の実際～画像を中心に～」と題して、土島秀次外科医長より、実際の結核患者のCT画像を参考にしながらの症例の紹介がありました。以降は梅木里美結核看護院内認定看護師より「結核発生時の施設内対応と当院における看護について」と題し感染防止対策や、抗結核薬について、DOTS(ドッツ)カンファレンスや退院後の対応、精神的な援助に関することなどの説明がありました。続いて中川かつ枝感染管理認定看護師から「施設内での結核患者発症時の接触者調査について」では結核患者の感染性の有無とその強さを判断し、接触者健診の対象者を選別していくことの説明がありました。

研修終了後のアンケートでは「結核に対する知識が深まり、現場での対応方法を知ることができて良かった。」や「画像やデータを用いての説明があり分かりやすかった。」など好評の声をいただきました。今後も、結核臨床研修会を開催していく予定です。頂いたご意見を参考に今後も結核対策の拠点病院として情報を発信していきたいと思っております。

参考



N95マスクの着け方について指導する様子



沢山の方に出席していただきました